6 軒天

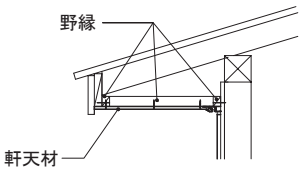
6−6 納まり詳細図

4）軒天12（軒天通気見切縁KBM2N）標準施工法 QF030RS−0156

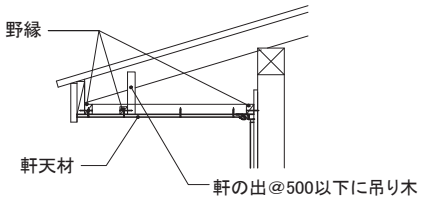
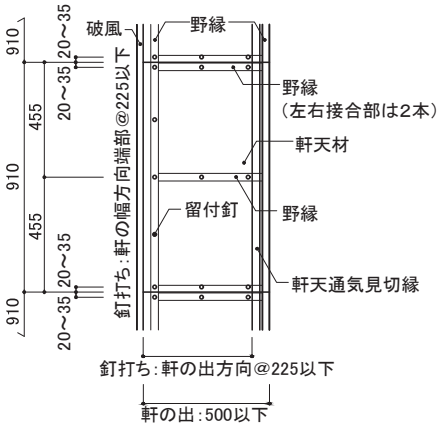
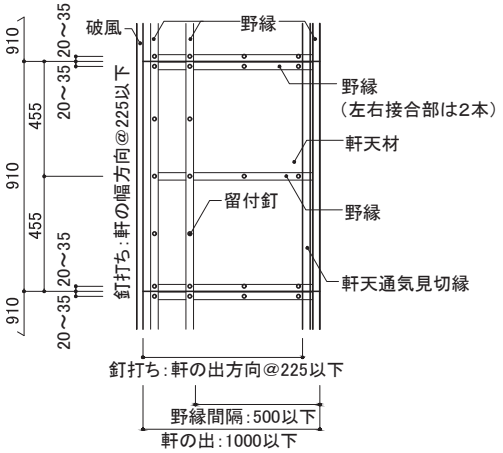
30分準耐火構造適合品／品番：KBM2N□□ 認定番号 軒裏：QF030RS−0156
※軒天12以外の軒天材には認定が適用できません。
※軒天通気見切縁本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

●下地組み
野縁梯子組：軒の出方向は500㎜以下、幅方向は455㎜以下の間隔で野縁（幅：30×高さ：40㎜以上）を組みます。
軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。
軒の出が500㎜を超える場合、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。
●下地の不陸は3㎜以下に調整します。
※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。
●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。
●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘 φ2．3㎜×38㎜）を用い、
野縁梯子組：軒の幅方向・出方向ともに225㎜以下の間隔で留め付けます。
●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20〜35㎜とします。
●取り付けには専用タッピングネジ（別売：φ3．8×28．5㎜）を使用します。KBM2N取り付け後、軒天材を取り付けます。
●KBM2N本体が長い場合は所定寸法に切断します。切断部は同色の補修液（別売）を塗布します。
●出隅カバーは、KBM2N本体の片側にカバーを差し込むように嵌合させ、KBM2N本体を野縁にビス留めし、もう片方のKBM2N本体をカバーに差し込むように嵌合させ、野縁にビス留めします。
※塩害のおそれのある場所（海岸から5km以内）では、錆が発生する場合があります。
※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。

軒の出が500㎜以下の場合



軒の出が500〜1000㎜以下の場合



野縁梯子組